

岩屋緑地に親しむ会 会報

令和5(2023)年4月1日発行 第89号

編集・発行

岩屋緑地に親しむ会

広報・連絡委員会

コロナ終息に向かう中 第20回「しいたけの菌打ち体験」開催

令和5年2月26日(日)岩屋緑地休憩所周辺において第20回「しいたけの菌打ち体験」が開催された。この日は良い天気だが風が強く寒かった。朝、会員は準備のためいつもより早い8時に集合する。参加したのは会員20



名と市役所からの1名。ミーティングで前日に配られた日程表に従って担当者の確認をする。進行、配置、道具準備などは各チーフがリーダーとなって手分けして行うことなどが指示され、早速準備に入る。

受付は芝生広場のテーブルを利用して、手指消毒用スプレー、ティッシュ、参加者名簿、配布資料、原木抽選箱、釣銭用の500円硬貨などを用意する。原木は休憩所からみんなで運び出し西の芝生広場脇に10本単位で並べ75本を用意する。これの木口に1~75の番号を黒のマジックで書く。菌打ちはA、B、

Cの3ブロックで行う。A、Bは休憩所の前庭、Cは下の機



具庫前。それぞれブルーシートを敷き風で飛ばないようにカラーコーンのお

もし6個ずつで押さえる。中央にAなどとブロック名を書いた紙を貼ったカラーコーンを置く。電気コード、高速ドリル、金槌、定規、カッターナイフ、チョーク、種菌、消毒スプレー、ティッシュなどを用意する。栽培方法説明は休憩

所のデッキで行う。原木2本、台にするレンガや薪、寒風、ビニール袋を用意、後ろのガラス戸にはシイタケの発生している写真を3枚張る。

8時45分頃から参加する市民の皆さんが集まり出す。今回も全員一齊に



行うのではなく市役所での申し込み受付時に9時、10時、11時の3組、各25名で分けられ、それぞれ15分前に集

合と告げられている。そのため駐車場や受付での混雑はなかった。受付では参加者に手の消毒をして貰ったうえで、名前の確認、会費1人500円の徴収、資料の入った緑の封筒(それに菌打ちブロックのA、B、Cが書かれている)を渡し、箱から原木抽選の木札を引いてもらう。

抽選の木札を引いたら原木配布場所へ移動。木札の番号と同じ番号の原木を探し、担当者に木札を渡し交換に原木を貰う。

貰った原木の木口に黒マジックで自分の名前を書き、所有者をハッキリさせる。名前が書けたら貰った封筒に書かれているA、B、

Cの指定ブロックへ移動する。今回の原木はこの森のどんぐりから育てたコナラの木。植樹から16年、この日の為に間伐したもの。見掛けによらずけっこう重い。両手で



抱きかかえて運ぶ男の子やパパと二人で運ぶ女の子、会員に助けを求める高齢者など微笑ましい姿が見られた。



ブルーシートの敷かれたブロックへ来たら始めは穴あけ作業。会員から作業の内容や穴あけの仕方、ドリルの扱いと注意などを聞

き、会員がやって見せる作業を見てからドリルを手にする。手袋を外し電気コードを痛めないように肩から掛け、穴あけ台に置かれた原木を跨いで、予め書かれたチョークの交点と格子の中央に穴をあける。はじめは恐る恐るの腰つきだったが慣れてくるとどんどん作業が進む。小さな子供はパパに手を添えて貰ったり、会員からアドバイスを受けたりしながらドリルを扱う人も。今回は女性の方の活躍が目についた。1本で空ける穴が50~70個程度あり、終わったら「やれやれひと仕事終えた」といった様子だった。



同じブルーシートの上で今度はシイタケの駒菌打ち。あけた穴にシイタケ菌が付着した木の小さな駒を金槌で叩いて打ち込む。雑菌が付かないように手袋を外しバケツに小出しされている駒を素手で掴んで穴にさし、金槌で叩いて頭が原木と面一になる



ようにする。穴が沢山開けられているので打ち漏らしの無いように。漏れが無いの確認したら作業はこれで終わり。

次は休憩所のデッキで、きのこアドバイザーである西川会長からシイタケ栽培の方法を聴く。さらに菌を打ったものを自宅で仮伏せする方法を実演して見せてくれる。レンガや薪などを枕にしてその上



に原木を寝かす。それに寒冷紗で覆い、さらにビニールと段ボールをかぶせ保温と日陰を作る。また段ボールで周りを囲い風除けにすると良い。この状態で3カ月くらい置きその後ビニールと段ボールを外す。これで二夏を越す。色々な質問も受け、小分けした寒冷紗を実費100円でお分けした。



時間のある人にはシイタケ栽培の様子を見学してもらう。

場所はじゃぶじゃぶ池の奥。会がシイタケを栽培しているところで、パイプの枠に原木を立てかけて、発生してきた小さなシイタケにビニール袋がかぶせてある。このような栽培現場を見るのは初めての人が多く、発生しているシイタケを、目を輝かせて見ていた。イベントはここまで、済んだ人から自由解散。それぞれが原木を慎重に車まで運び自宅へ向かった。11時30分頃にほぼ終わった。

残った原木数本に菌を打ち、栽培地に運んだ。道具、工具などを纏め、ビニールシートを畳み掃除をして元通りに。コーヒーでしばらく談笑し12時30分に全てが終わる。

【写真 P1 左上: 受付、写真 P1 中央: A、B ソーンでの作業、写真 P1 左下: 原木配布、写真 P1 右上: 原木配布、写真 P1 右下: 原木穴あけ、写真 P2 左上: 原木穴あけ、写真 P2 中央、C ソーンでの作業、写真: P2 左中: 駒菌打ち、写真 P2 左下: 栽培指導、写真 P2 右上、駒菌打ち、写真 P2 右中: 栽培指導、写真 P2 右下: シイタケ栽培の見学】

